

令和5年度・6年度墨田区産業振興会議報告書（概要版）

【背景】

- 社会経済環境変化の激化
- 区外からの移住者増加
- 工場数の一貫した減少傾向
- 区の産業振興策の変化



◆ 産業集積を維持する意義と手段

【現状と課題】

（1）製造業の減少と産業集積の維持

- 工場数9,703 2,000未満へ減少
- まちの活力源として産業集積が必要

◆ ものづくりのみに依存しない新しい形の産業集積

（2）スタートアップ支援の潮流と今後の産業振興施策

- 経済成長の新たな原動力としてのスタートアップ
- 国・都をはじめとするスタートアップ支援の潮流

◆ 新もの拠点を礎に、スタートアップ支援の潮流の取り込み
◆ 強みを生かし、既存事業者にメリット・インパクトある施策

（3）観光の活況と産業観光の在り方

- インバウンド誘致の加速
- 東京スカイツリー開業と「産業と観光の融合」

◆ 産業との関連の明確化
◆ 区の施策として取り組むべきことの整理

【方向性】

（1）幅広い産業の集積・維持

- ◆ 「コトづくり」の意識
- ◆ 地域産業の新たな担い手の育成

（2）地域の強みに根差したバランスの取れた施策展開

- ◆ 墨田区の特徴・強みを生かした施策
- ◆ 「減らさないための取組」と「増やすための取組」のバランス

（3）墨田区における産業観光

- ◆ 産業振興につながる観光＝産業観光
- ◆ ターゲットと目的の整合の取れた施策立案

【産業集積のアップデート】

産業集積のアップデートとは

- ・ ものづくり中心から幅広い業種を対象とした新しい形の産業集積への変容

産業集積のアップデートに必要な要素

- ・ 呼び込む（区外から幅広いステークホルダーを呼び込む）
- ・ つなげる（ステークホルダーと区内事業者をつなげる）
- ・ 変わる（共創に向けた取組をととして区内事業者が変わる）

産業集積のアップデートを実現するための手段

- ・ 「ハードウェアスタートアップ拠点構想」に基づく事業推進
- ・ SICを中心とした共創の創出（「新ものづくり創出拠点」との相互補完、区内事業者の巻き込みとスタートアップの呼び込み、共創事例の創出と波及）
- ・ 東墨田ラボ、テクネットラボとの連携

（参考）ハードウェアスタートアップ拠点構想

墨田区ものづくり企業とスタートアップの共創、新産業創出に向けた基盤づくり



- ◆ 不確実性が高まった時代において、新しい形の産業集積をめざす「産業集積のアップデート」に取り組むことの意義は大きい
- ◆ 今後は「産業集積のアップデート」により、ものづくりに限らない産業集積を実現する必要がある
- ◆ そのためにも、「産業集積のアップデート」の具体的な姿と実現のための手法を示し、地域と共有することが重要である

ステークホルダー集積
共創事例の創出

好事例の創出
コミュニティ醸成

新産業クラスター
経済循環の創出

産業集積の
アップデート